

## 【令和4年度 政策・調整会議】

件名：地域ごとの資産保有の最適化について

日時：令和4年8月23日（火）10：50～10：53

場所：第3庁舎7階 災害対策本部事務局室

### ●付議理由

資産マネジメント第3期実施方針に基づく「地域ごとの資産保有の最適化」について、パブリックコメント等による市民の意見も踏まえ、検討を行う地域の優先順位付けを行い、モデル地域とした地域について、最適化の検討対象とする施設の選定や公共施設の適正配置に関する分析・検討等に取り組むため。

### ●付議概要

地域ごとの資産保有の最適化検討に向けて、検討を行う地域の優先順位付けの考え方を案として整理し、広く市民意見を募集する。

#### 1 背景

- ・本市の公共施設は利用者の居住範囲が様々であり、立地している地域の人口や課題も異なるため、資産保有の最適化にあたっては、地域ごとの状況を踏まえた取組が必要。
- ・市民に馴染みがあること、一定の規模が必要なことから、複数の中学校区(2～4程度)を基本単位とした「地域」ごとの取組を推進するが、各公共建築物の老朽度や利用状況などの把握・分析や、地域に対し丁寧に説明し、意見を伺いながら合意形成を図る必要があり、期間をかけた丁寧な取組が必要。
- ・こうした丁寧な取組を行うためには、全ての地域について一斉に取り組むことは困難であることから、最適化の検討を行う地域の優先順位付けを行い、検討を行う「地域」を決定。

#### 2 指標等の設定

- ・各公共施設の状況を踏まえた資産保有の最適化検討を行う地域の優先順位付けが必要であり、そのためには施設の状況を客観的にあらわす指標等が必要であることから、公共施設の定量的な指標等を活用した上で、指標等に基づき各地域を点数化し、点数の高い地域について最適化を検討。
- ・「川崎市公共施設白書」や「川崎市行財政改革第3期プログラム」を踏まえ、以下の指標等を設定。
  - ① 「規模」：延床面積を点数化の対象
  - ② 「老朽度」：資産老朽化比率を点数化の対象
  - ③ 「利用状況」：規模あたり年間利用者数を点数化の対象
  - ④ 「施設のあり方等」：行財政改革第3期プログラムへの位置づけを点数化の対象

#### 3 各指標等に関する点数の設定

- ・資産マネジメント第3期実施方針の考え方や施設の利用状況等を踏まえ、各指標等の点数を設定。
- ・資産マネジメント第3期実施方針の取組期間である10年間で地域ごとの検討を行うことを踏まえ、点数上位1/4をモデル地域とし、最適化を検討。
- ・検討終了後、その他の地域について改めて点数化し、検討地域を設定した上で最適化を検討。

### ●結論

報告内容について確認。